

別添様式2-(1)

自然環境整備計画(国定公園等整備事業)
【令和5年度～令和9年度】

いわてけん

岩手県

令和4年12月

令和5年12月

令和6年12月

別添様式2-(2) 目標、計画期間及び整備方針(自然環境整備計画(国定公園等整備事業))

都道府県名	岩手県	対象地域	栗駒国定公園、早池峰国定公園
計画期間	令和5年度～令和9年度		

目標
案内標識等の多言語表記など国際化対応のための整備、登山道における破損・荒廃した木道、破損等により復旧・新設が必要な橋梁、及び避難小屋の整備を行い、利用者にとって安全で快適な受入環境を整える。

目標設定の根拠

対象地域の現状
 ・栗駒国定公園(栗駒地域)は、岩手・宮城・秋田にまたがる花の百名山にも選ばれた標高1,627mの栗駒山を中心とした地域で、登山口には須川温泉がある。須川温泉から山頂まで2時間という手軽さや、温泉周辺には登山道以外に自然観察路が整備され、温泉利用者を含めて年間30万人が訪れる、県内でも有数の観光地となっている。
 ・栗駒国定公園(焼石地域)は、花の百名山にも選ばれた標高1,548mの焼石岳を中心に北に南本内岳、更に夏油三山と呼ばれる牛形山、蜂塚山、駒ヶ岳等の自然美豊かな山々からなる地域である。登山道の多くはブナ林に囲まれ、山頂付近の泉水沼に多くの沼地や湿地帯があり湿性の高山植物が見られることから、多くの登山者が訪れる。
 ・早池峰国定公園は標高1,917mの早池峰山とそれに対峙する標高1,645mの薬師岳からなる地域である。ハヤチネウスユキソウに代表されるように特産種や希少種が多く、日本百名山にもあげられるなど全国的にも知名度が高く、多くの登山者が訪れる。

課題
 ・各登山道は登山ブームにより多くの登山者が訪れている状況にある。このことから、老朽化等により破損・荒廃した木道、橋梁(早池峰国定公園、栗駒国定公園)などを計画的に再整備し、利用者の安全性を確保していく必要がある。
 ・登山道標識は、整備箇所や年度によりデザインに統一性が無く、また、老朽化により文字が読めなくなっているものがある。これらの施設を景観に配慮したデザインを採用し、同時に訪日外国人の受入環境が整備されていないことから多言語表記の案内標識等を計画的に整備する必要がある。
 ・昭和湖にて発生している高濃度の火山性ガスにより須川温泉駒ノ湯線登山道の一部閉鎖をしたため、迂回路となる瑞山登山道の利用者の急激な増加に伴い、登山者の安全確保のために登山道を整備する必要がある。
 ・昭和湖にて発生している高濃度の火山性ガスにより須川温泉駒ノ湯線登山道の一部閉鎖をしたが、昭和湖手前までの一部通行止め解除を行ったため、数年間人が通ることのなかった須川温泉駒ノ湯線登山道を登山者の安全確保のため整備する必要がある。

対象地域の整備方針	0	0	方針に沿った主要な事業
・栗駒国定公園 焼石縦走線道路(歩道)において、木歩道が腐食し転倒・踏抜き等の危険性が高まっていることから、事故防止のため整備を実施する。 瑞山登山道において、安全確保のための登山道を整備する。 須川温泉駒ノ湯線において、安全確保のための登山道を整備する。 また登山道付近から発生している硫化水素ガス対策として警報装置と迂回路を設置する。 須川温泉博物館展示施設事業において、機械設備の経年劣化での不具合を解消し、利用者の安全確保のための再整備を行う。			1-1 焼石縦走線道路(歩道)事業 1-2 栗駒国定公園避難小屋事業 1-3 須川温泉駒ノ湯線歩道事業 1-4 瑞山登山道(歩道)事業 1-7 須川温泉博物館展示施設事業
・早池峰国定公園 令和2年度に山頂避難小屋の現地調査を行った結果、老朽化・損傷が著しく早期の改修が必要という検討結果が示されたことから、本計画において改修工事を行う。 早池峰河原の坊線道路(歩道)事業の休憩舎において、経年劣化により雨漏りが発生しており、安全確保のため再整備を行う。			1-5 早池峰避難小屋事業 1-6 早池峰河原の坊線道路(歩道)事業
・東北自然歩道 老朽化が進行している東北自然歩道の標識の再整備と同時に多言語表記を実施する。			3-1 東北自然歩道標識再整備事業

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	調査等の方法	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
						0	0	目標年度
利用者の満足状況	%		管理員または利用者等から聞き取り	満足状況は、施設の安全性や利便性と関連する。	75		80	R9

その他必要な事項
計画期間終了後の整備施設は、事業主体である岩手県が市町村及び山岳関係者等と協働で管理する。

別添様式2-(3) 交付対象事業経費配分等一覧表(国定公園等整備事業)

都道府県名	岩手県
-------	-----

(金額の単位は千円)

総事業費(合計)	365,000	交付対象事業費(合計)	365,000	交付限度額(令和5年度～令和9年度)	164,250
----------	---------	-------------	---------	--------------------	---------

1 国定公園に係る事業(生態系維持回復事業を含む)

番号	公園名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体事業費	(参考)全体事業期間		総事業費	交付対象事業費	(参考)うち都道府県費	(参考)うち市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度					1年目(R5年度)	2年目(R6年度)	3年目(R7年度)	4年目(R8年度)	5年目(R9年度)
1-1	栗駒国定公園	焼石縦走線道路(歩道)事業	北上市・奥州市	岩手県	17,000	R5	R9	17,000	17,000	9,350	0	2,000			15,000	
1-2	栗駒国定公園	栗駒国定公園避難小屋事業	奥州市	岩手県	25,473	R6	R6	25,473	25,473	14,010	0	0	0	25,473		
1-3	栗駒国定公園	須川温泉駒ノ湯線歩道事業	一関市	岩手県	164,527	R5	R8	164,527	164,527	90,490	0	31,749	92,778	40,000		
1-4	栗駒国定公園	瑞山登山道(歩道)事業	一関市	岩手県	30,000	R8	R8	30,000	30,000	16,500	0			30,000		
1-5	早池峰国定公園	早池峰山山頂避難小屋事業	遠野市	岩手県	10,000	R5	R5	10,000	10,000	5,500	0	10,000				
1-6	早池峰国定公園	早池峰河原の坊線道路(歩道)事業	花巻市	岩手県	53,000	R5	R7	53,000	53,000	29,150	0	3,000		50,000		
1-7	栗駒国定公園	須川温泉博物展示施設事業	一関市	岩手県	45,000	R5	R8	45,000	45,000	24,750	0	5,000		0	40,000	
					345,000			345,000	345,000	189,750	0	51,749	92,778	90,000	70,000	40,473

2 国指定鳥獣保護区に係る事業(国定公園外において行われる自然再生施設の整備事業であって、平成18年度以前からの継続事業であるもの)

番号	国指定鳥獣保護区名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体事業費	(参考)全体事業期間		総事業費	交付対象事業費	(参考)うち都道府県費	(参考)うち市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度					1年目(R5年度)	2年目(R6年度)	3年目(R7年度)	4年目(R8年度)	5年目(R9年度)
					0			0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 長距離自然歩道に係る事業(国立公園及び国定公園内の事業は除く)

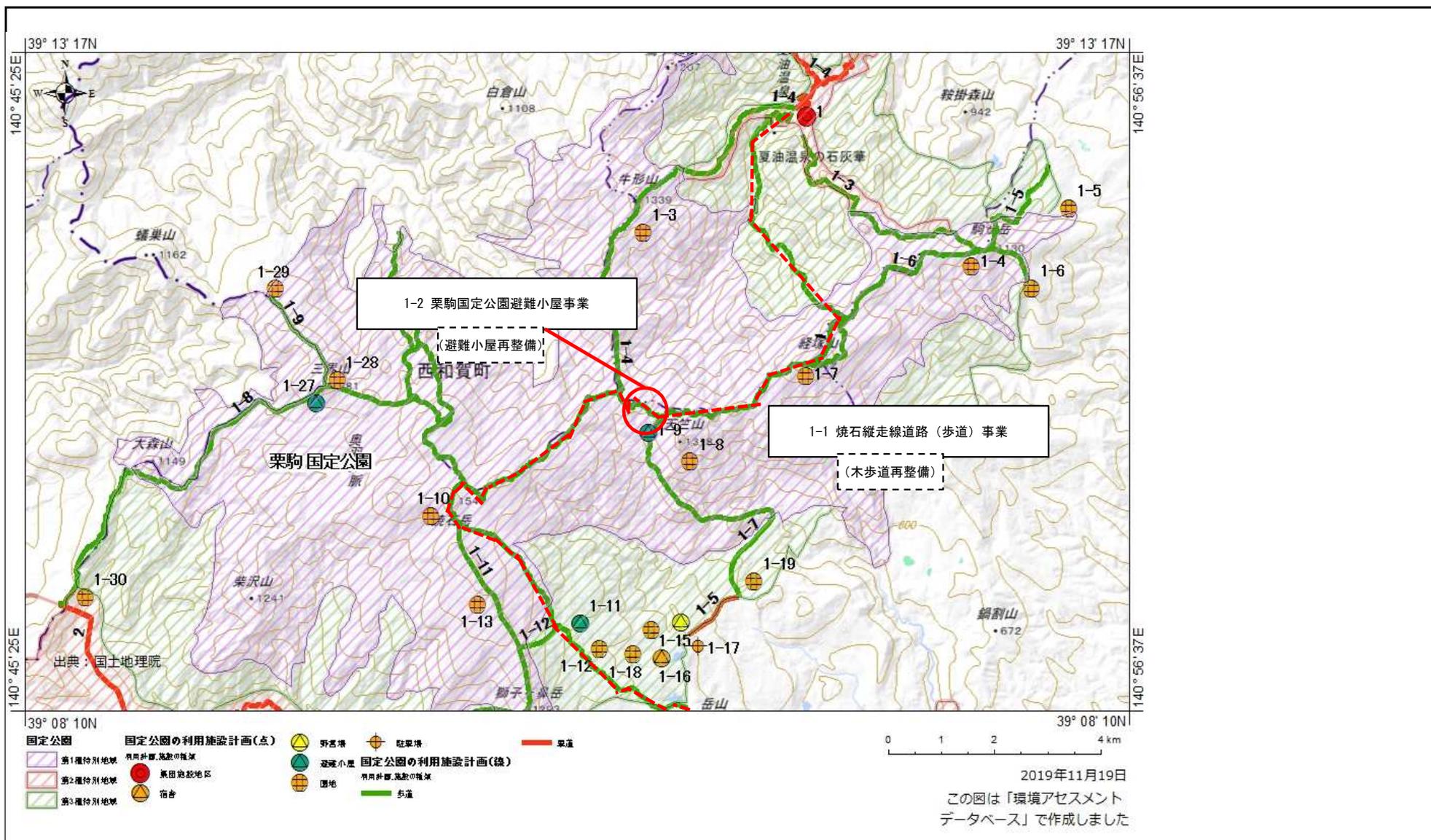
番号	長距離自然歩道名	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体事業費	(参考)全体事業期間		総事業費	交付対象事業費	(参考)うち都道府県費	(参考)うち市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
						開始年度	終了年度					1年目(R5年度)	2年目(R6年度)	3年目(R7年度)	4年目(R8年度)	5年目(R9年度)
3-1	東北自然歩道	東北自然歩道		岩手県	20,000	R8	R9	20,000	20,000	11,000	0			0	20,000	
					20,000			20,000	20,000	11,000	0	0	0	0	20,000	

4 合計

番号	事業名	事業箇所	事業主体	(参考)全体事業費	(参考)全体事業期間		総事業費	交付対象事業費	(参考)うち都道府県費	(参考)うち市町村費	(参考)交付対象事業費の年次配分				
					開始年度	終了年度					1年目(R5年度)	2年目(R6年度)	3年目(R7年度)	4年目(R8年度)	5年目(R9年度)
				365,000			365,000	365,000	200,750	0	51,749	92,778	90,000	70,000	60,473

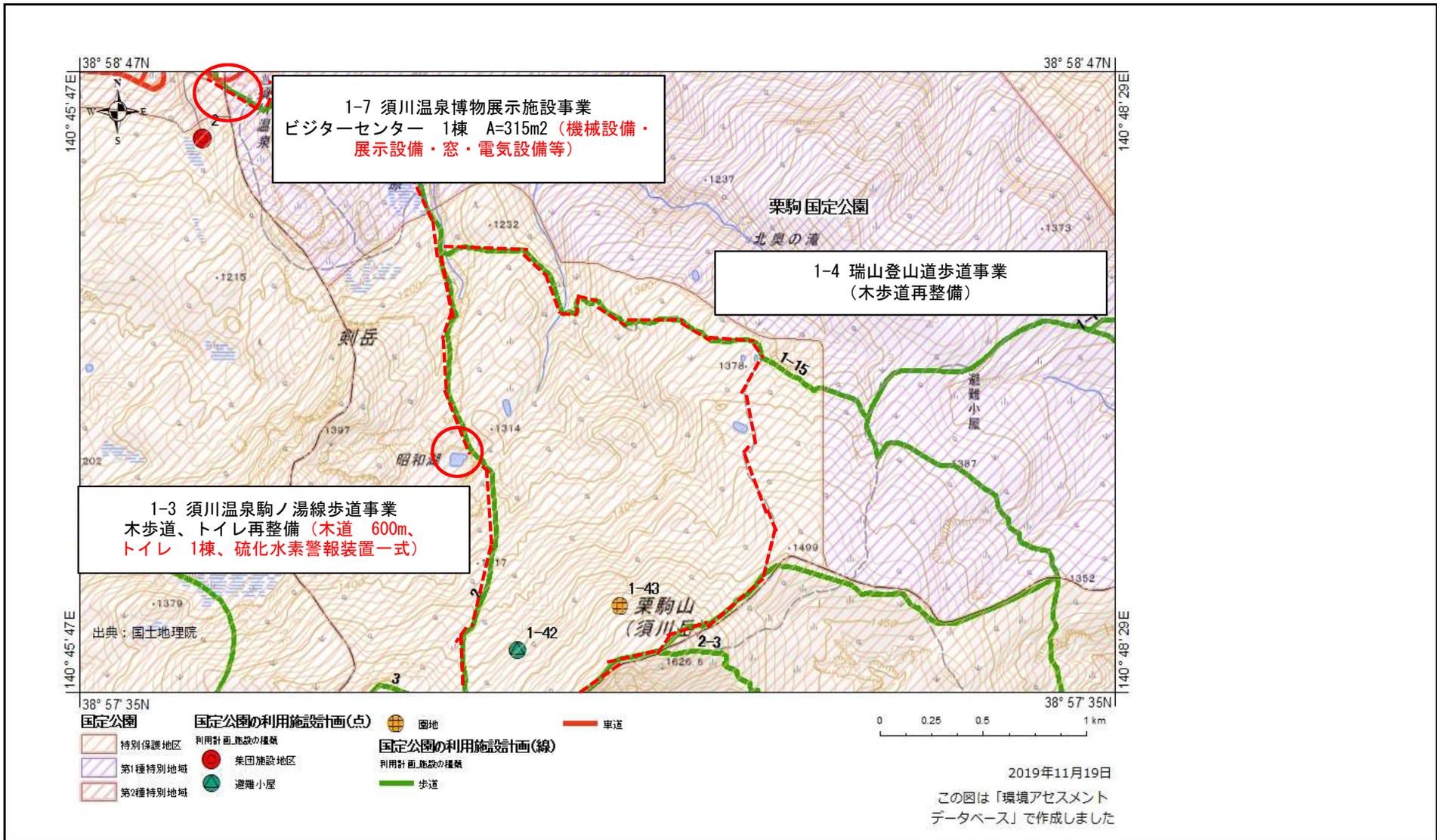
別添様式2-(5)概要図(自然環境整備計画(国定公園等整備事業))(岩手県)

都道府県名	岩手県	対象地域	栗駒国定公園(焼石地域)	所在地	北上市、奥州市
-------	-----	------	--------------	-----	---------



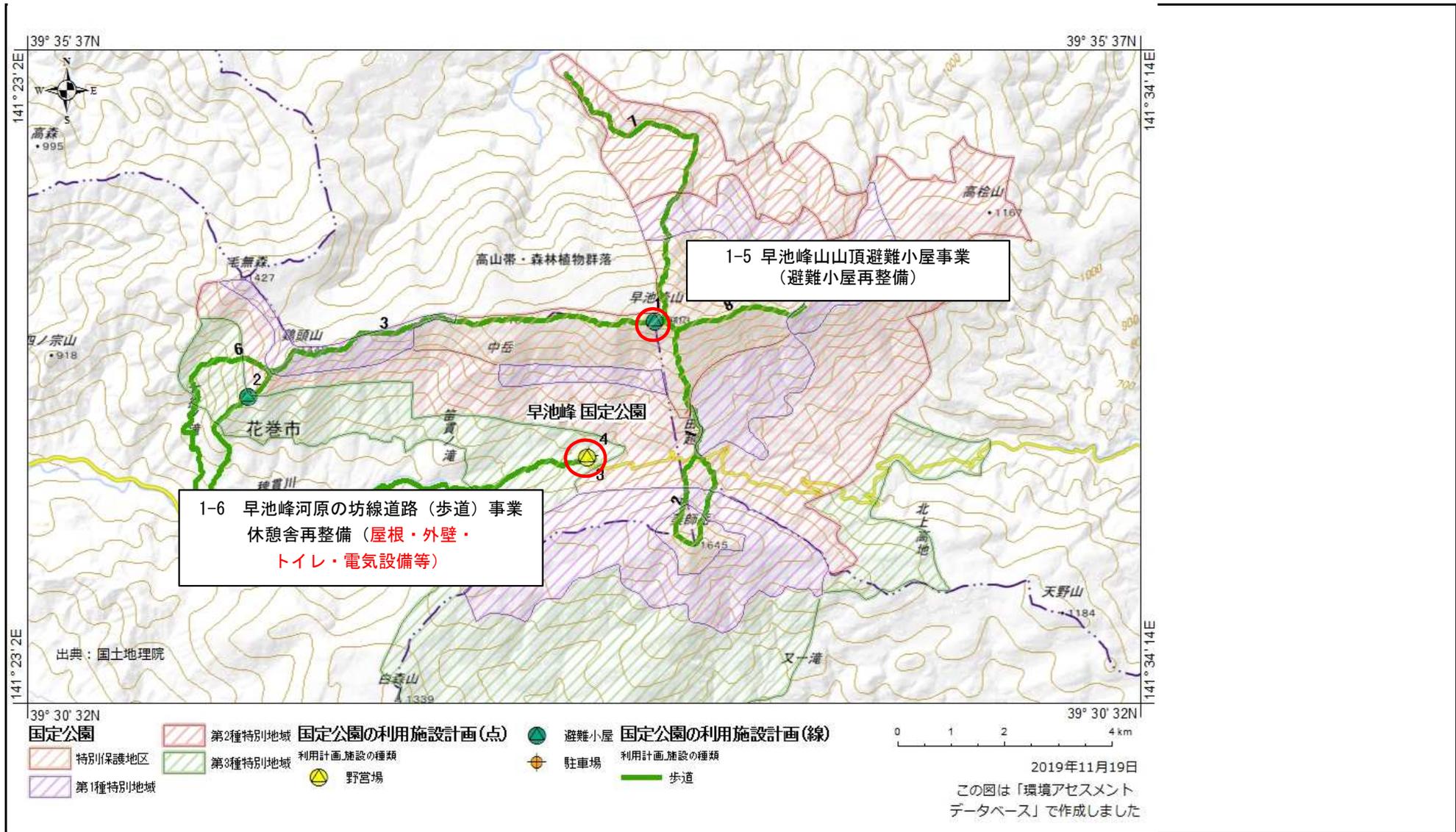
別添様式2-(5)概要図(自然環境整備計画(国定公園等整備事業))(岩手県)

都道府県名	岩手県	対象地域	栗駒国定公園(栗駒地域)	所在地	一関市
-------	-----	------	--------------	-----	-----



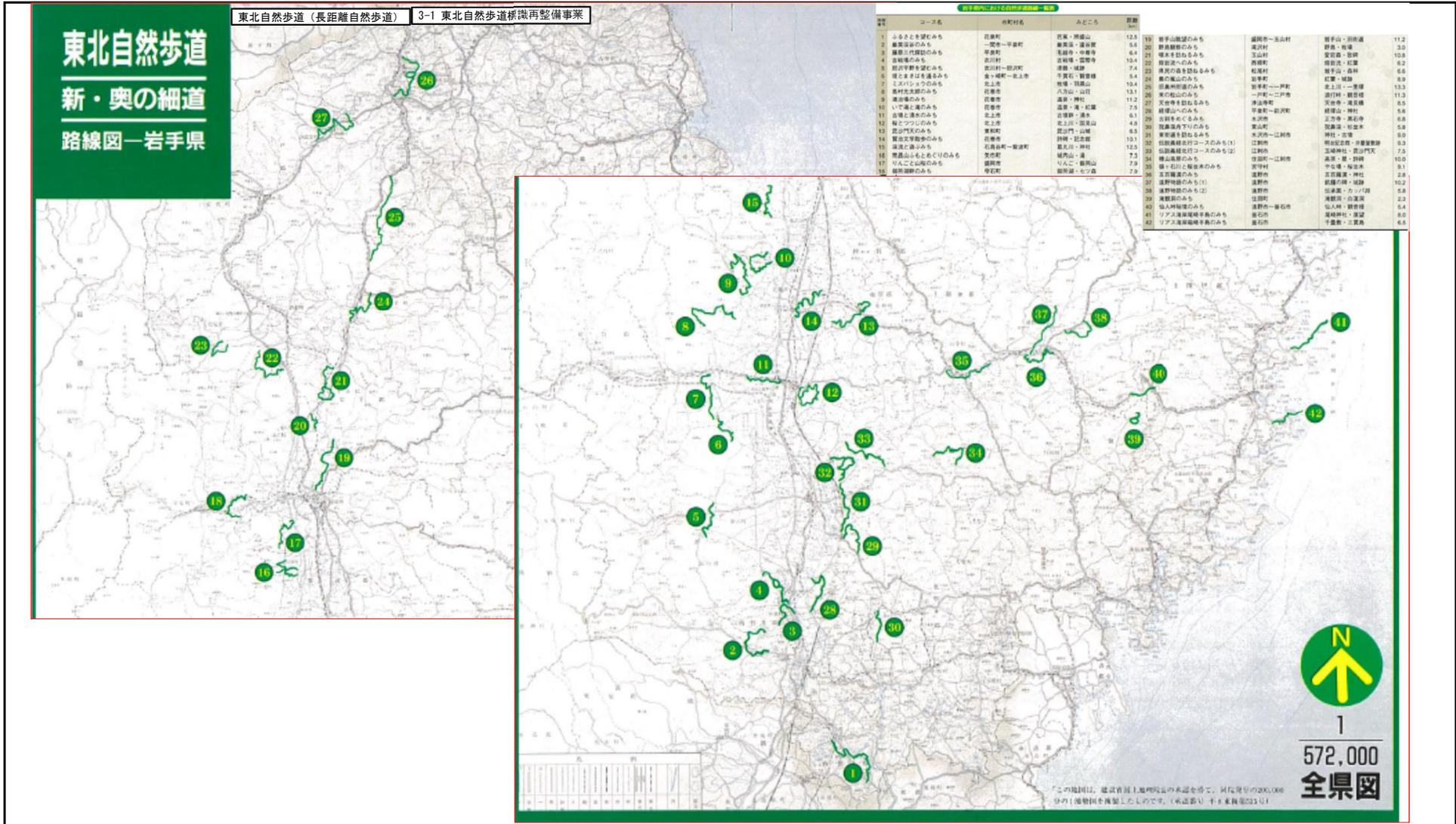
別添様式2-(5)概要図(自然環境整備計画(国定公園等整備事業))(岩手県)

都道府県名	岩手県	対象地域	早池峰国定公園(早池峰地域)	所在地	遠野市
-------	-----	------	----------------	-----	-----



別添様式2-(5)概要図(自然環境整備計画(国定公園等整備事業))(岩手県)

都道府県名	岩手県	対象地域	東北自然歩道	所在地	平泉町(ひらいずみちよう)、奥州市(おうしゅうし)、花巻市(はなましし)、二戸市(にのへし)、北上市(きたかみし)、一関市(いちのせきし)、金ケ崎町(かねがさきちよう)、紫波町(しわちよう)、矢巾町(やはばちよう)、盛岡市(もりおかし)、雫石町(しずくいしちよう)、滝沢市(たきざわし)、八幡平市(はちまんたいし)、岩手町(いわてまち)、一戸町(いちのへまち)、住田町(すみたちよう)、遠野市(とのおし)、釜石市(かまいし)
-------	-----	------	--------	-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



別添 2

事前評価用チェックシート(参考例) (自然環境整備計画(国定公園等整備事業))

都道府県名	岩手県	計画期間	令和 5 年度～令和 9 年度
個別地域名	栗駒国定公園	評価年度	令和 5 年度
1 事業の必要性			チェック欄
★ (1)	事業区域の自然環境、施設整備の現状及び利用の動向等から、事業を実施する必要が認められる。		○
★ (2)	上位計画との整合性が確保されている。		○
★ (3)	自然環境整備交付金取扱要領の1に定める交付対象事業等である。		○
2 事業の有効性			チェック欄
★ (1) 公園等の利用			
利用の場合に選択	①	自然体験活動や自然環境学習の場として活用するための整備である。	○
	②	適正な利用への誘導のための整備である。	○
	③	利用環境の向上、安全性の向上のための整備である。	○
	④	質の高い、魅力ある景観づくりのための整備である。	○
	⑤	全ての人を楽しめるようユニバーサルデザイン等を考慮している。	○
	⑥	国際的な保護地を活用するための整備である。	○
(2) 公園等の保護			
		生物多様性の確保や自然環境の保全等のための整備である。	○
★ (1) 公園等の保護			
保護の場合に選択	①	地域に固有の生態系を確保するための整備である。	
	②	絶滅のおそれのある野生生物の生息・生育環境を保全するための整備である。	
	③	地域に固有の風景を保護するための整備である。	
	④	モニタリング計画が策定されている。	
	⑤	科学的知見に基づく順応的取り組みや計画を評価する体制が整っている。	
	⑥	国際的な保護地を活用するための整備である。	
(2) 公園等の利用			
		自然体験活動や自然環境学習の場として活用するための整備である。	
3 目標と指標の妥当性・実現可能性			チェック欄
★ (1) 目標と指標の妥当性			
	①	目標に対応した適切な指標が設定されている。	○
	②	指標及び数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
(2) 経済性			
		長寿命化やコストの削減に努めるなど経済性に配慮している。	○
(3) 自然環境等への配慮			
		自然環境や地球環境に対し、以下のような配慮をした事業である。 ・整備による風景への影響を最小限とするよう配慮 ・省エネの推進や再生エネルギーの活用 ・地域材等の天然材料等、生態系に配慮した資材の利用 ・外来種の持ち込み対策等に対する施工上の配慮 ・木材を利用する場合に間伐材を使用 ・廃棄物が発生する場合にリサイクル等を推進	○
★ (4) 実現可能性			
	①	関係機関や地域との合意が形成されている。	○
	②	整備完了後適切に維持管理が実施される予定である。	○
	③	事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

注：★は必須項目

別添 2

事前評価用チェックシート(参考例) (自然環境整備計画(国定公園等整備事業))

都道府県名		岩手県	計画期間	令和 5 年度～令和 9 年度
個別地域名		早池峰国定公園	評価年度	令和 5 年度
1 事業の必要性				チェック欄
★(1)		事業区域の自然環境、施設整備の現状及び利用の動向等から、事業を実施する必要が認められる。		○
★(2)		上位計画との整合性が確保されている。		○
★(3)		自然環境整備交付金取扱要領の1に定める交付対象事業等である。		○
2 事業の有効性				チェック欄
★(1) 公園等の利用				
利用の場合に選択	①	自然体験活動や自然環境学習の場として活用するための整備である。		○
	②	適正な利用への誘導のための整備である。		○
	③	利用環境の向上、安全性の向上のための整備である。		○
	④	質の高い、魅力ある景観づくりのための整備である。		○
	⑤	全ての人を楽しめるようユニバーサルデザイン等を考慮している。		○
	⑥	国際的な保護地を活用するための整備である。		○
(2) 公園等の保護				
		生物多様性の確保や自然環境の保全等のための整備である。		○
★(1) 公園等の保護				
保護の場合に選択	①	地域に固有の生態系を確保するための整備である。		
	②	絶滅のおそれのある野生生物の生息・生育環境を保全するための整備である。		
	③	地域に固有の風景を保護するための整備である。		
	④	モニタリング計画が策定されている。		
	⑤	科学的知見に基づく順応的取り組みや計画を評価する体制が整っている。		
	⑥	国際的な保護地を活用するための整備である。		
(2) 公園等の利用				
		自然体験活動や自然環境学習の場として活用するための整備である。		
3 目標と指標の妥当性・実現可能性				チェック欄
★(1) 目標と指標の妥当性				
	①	目標に対応した適切な指標が設定されている。		○
	②	指標及び数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
(2) 経済性				
		長寿命化やコストの削減に努めるなど経済性に配慮している。		○
(3) 自然環境等への配慮				
		自然環境や地球環境に対し、以下のような配慮をした事業である。 ・整備による風景への影響を最小限とするよう配慮 ・省エネの推進や再生エネルギーの活用 ・地域材等の天然材料等、生態系に配慮した資材の利用 ・外来種の持ち込み対策等に対する施工上の配慮 ・木材を利用する場合に間伐材を使用 ・廃棄物が発生する場合にリサイクル等を推進		○
★(4) 実現可能性				
	①	関係機関や地域との合意が形成されている。		○
	②	整備完了後適切に維持管理が実施される予定である。		○
	③	事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		○

注：★は必須項目